

瓦を人糞の中に漬引出して日に晒し糞を洗ひおとして、その生簀へ入るれば、風を去て金魚ながく活、これは秘苑要術に見えたり。

〔皇都午睡三編下〕夏中金魚の餌とする物を江戸にてぼうふらと云ふ、京攝にいふ子子にあらず、物類稱呼二動物丁斑魚めだか 東武にてめだか、京にてめざこ、又うきん亥よ、又だんぎばう、大和にてこめん亥やこ、南部にてはめたまき、大坂東南にてうきだ、大坂西北にてこまひ亥やこ、和泉にてめん亥やこ、同國堺及近江因幡越前にてめ亥やこ、伊勢にてめばや、又ねばい、同國白子および美濃にてこばい、尾張にてうさす、遠江にてねんはち又めんばい、相模三浦邊にてびつこ、出雲にてめんぱち、同國及越後にてうるめ、伊豫にてうきいを、土佐にてあぶらこ、肥前にてたうを、越中にてかぬざ、又こめざこ、陸奥にてはりみす、同國南部にてめざこ、又めぬけ、出羽最上にて亥よんばらこと云、

按るに京都にて目高の異名をだんぎ坊とよぶは、凡僧の經論も見ず、咄に咄すを水に放すと云秀句にて談義坊といふとぞ。

〔大和本草十三〕目高 長五六分至一寸、首大ニ目高ク出タリ、池塘小溝ニ多シ、水土ニ浮游ス不堪食、漢名未詳、或曰、後苦鮒トナル未審。

〔重修本草綱目啓蒙二十九〕鱗魚略 中

メダカ江戸ハ方言多シ、カ子タカキ 加州ハリメ○同上 小者メバチ、勢州メンバチ、龜山カタクチ、共通子ンハチ、遠州メイタガキ、阿州アブラニ、土州メイタ、長州タイナ、防州タイナ、下松子ブツゴ、同上子ンブツゴ、雲州メカザコ、豫州ウキイヲ、同ヲクロバエ、佐州バンダイ、大坂ウキタ京テンテンブク、越前メツタソ、紀州アワフキ、江州此魚ハ淺流淀溜及溝瀆中ニ多シ、小魚ナリ、好テ水面ニ浮游シテ沈マズ、長サ一寸許、首扁ク兩大目相竝デ高ク出、水藻中ニ卵ヲ生ジ繁息ス、